

1.業績概要

平成25年度決算の概要(連結・3行単体合算)

◆ 役務取引等利益の増加、経費減少の一方、前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益の影響からコア業務純益は前年同期比32億円減少。

◆ 与信関係費用の減少により当期純利益は前年同期比40億円増加し312億円。経常利益、当期純利益とも過去最高益。

(億円)

	YMFG連結		3行合算				
		前年同期比	前年同期比	山口	もみじ	北九州	
経常収益	1,610	30	1,526	△ 4	18	△ 23	0
コア業務粗利益	1,137	△ 47	1,073	△ 55	△ 1	△ 54	0
資金利益	940	△ 1	949	3	△ 6	11	△ 1
役務取引等利益	173	24	123	18	11	6	1
その他業務利益	0	△ 78	△ 0	△ 79	△ 7	△ 72	1
経費(△) (除く臨時処理分)	850	△ 14	768	△ 18	△ 14	△ 3	△ 0
人件費(△)	—	—	346	△ 12	△ 9	△ 3	0
物件費(△)	—	—	385	△ 3	△ 4	0	0
コア業務純益	286	△ 32	304	△ 36	13	△ 50	0
経常利益	498	59	500	42	40	2	△ 0
当期純利益	312	40	330	25	22	3	△ 0
与信関係費用	△ 69	△ 72	△ 69	△ 71	△ 32	△ 41	1

資金利益の内訳(3行合算)

(億円)

	26/3期	前年同期比
資金利益	949	3
資金運用収益	1,033	1
貸出金利息	806	△ 37
有価証券利息	214	43
資金調達費用	84	△ 3
預金利息	76	△ 2

前期、貸出債権証券化に伴う譲渡益を計上した特殊要因によるもの。

連単差

3行合算当期純利益	330億円
のれん償却費(もみじ銀行他)	△ 49億円
F G連結調整等	27億円
子銀行連結調整	3億円
YMFG連結純利益	312億円

※単位未満は切捨て表示。3行合算については3行単体の単純合算数値

山口銀行の平成25年度決算概要

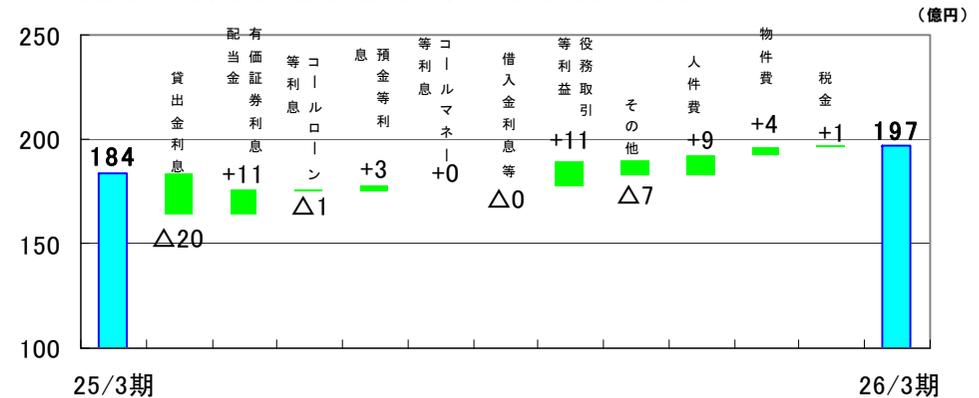
- ◆ 資金利益は減少したものの、役務取引等利益の増加・経費削減によりコア業務純益は前年同期比13億円増加。
- ◆ 加えて与信関係費用が減少(戻入益が増加)し、当期純利益は前年同期比22億円増加。

	(億円)	
	26/3期	前年同期比
経常収益	837	18
業務粗利益	589	△77
資金利益	505	△6
役務取引等利益	76	11
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	7 (11)	△83 (△75)
経費(除く臨時処理分)(△)	380	△14
うち人件費(△)	166	△9
うち物件費(△)	196	△4
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	—
業務純益	209	△62
コア業務純益	197	13
臨時損益	97	102
うち不良債権処理額(△)	0	△0
うち株式等関係損益	42	59
うち貸倒引当金戻入益	47	31
経常利益	306	40
特別損益	△5	△5
税引前当期純利益	300	35
当期純利益	189	22
与信関係費用(△)	△47	△32

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 197億円(前年同期比 +13億円)

※コア業務純益:一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 54億円(前年同期比 △16億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	11	△75
売却損益	17	△74
償還損益	△5	△1
株式等損益	42	59
売却損益	42	36
償却額(減損処理)(△)	—	△22

与信関係費用 △47億円(前年同期比 △32億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△39	△11
個別貸倒引当金繰入額	△8	△20

もみじ銀行の平成25年度決算概要

- ◆資金利益・役務取引等利益の増加及び経費削減に努めたものの、前期の貸出債権証券化に伴う譲渡益の影響から、コア業務純益は前年同期比50億円減少。
- ◆与信関係費用の減少、有価証券関係損益の改善により、当期純利益は前年同期比3億円増加。

(億円)		
	26/3期	前年同期比
経常収益	561	△ 23
業務粗利益	415	△ 93
資金利益	346	11
役務取引等利益	38	6
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	30 (28)	△ 112 (△ 39)
経費(除く臨時処理分)(△)	298	△ 3
うち人件費(△)	138	△ 3
うち物件費(△)	145	0
一般貸倒引当金繰入額(△)	—	20
業務純益	117	△ 110
コア業務純益	88	△ 50
臨時損益	55	112
うち不良債権処理額(△)	3	△ 35
うち株式等関係損益	34	47
うち貸倒引当金戻入益	25	25
経常利益	173	2
特別損益	△ 1	△ 0
税引前当期純利益	171	1
当期純利益	129	3
与信関係費用(△)	△ 22	△ 41

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 88億円(前年同期比 △50億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 62億円(前年同期比 +8億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	28	△ 39
売却損益	33	△ 37
償還損益	△ 4	△ 1
株式等損益	34	47
売却損益	35	38
償却額(減損処理)(△)	1	△ 9

与信関係費用 △22億円(前年同期比 △41億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△ 23	△ 3
個別貸倒引当金繰入額	△ 1	△ 37

北九州銀行の平成25年度決算概要

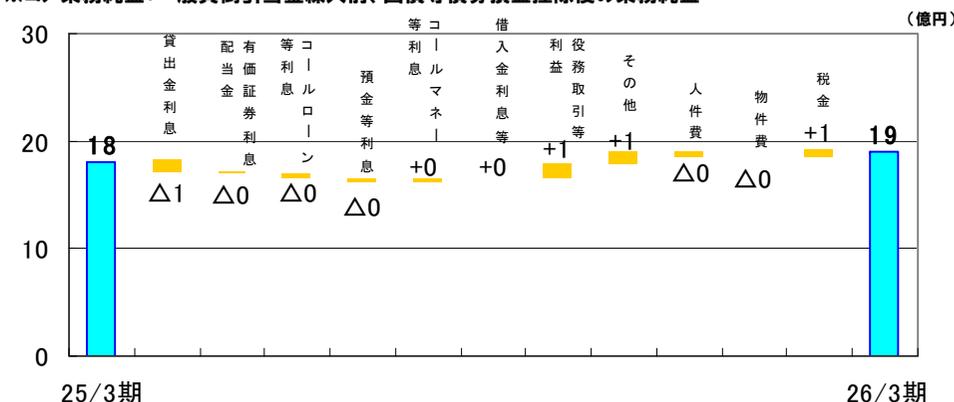
- ◆ 資金利益は微減するも、役務取引等利益の増加・営業経費削減によりコア業務純益は前年同期比0.8億円増加。
- ◆ 一方で、与信関係費用が増加したため、当期純利益は前年同期比0.4億円減少。

(億円)		
	26/3期	前年同期比
経常収益	128	0
業務粗利益	108	0
資金利益	97	△1
役務取引等利益	8	1
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	2 (△0)	1 (0)
経費(除く臨時処理分)(△)	89	△0
うち人件費(△)	41	0
うち物件費(△)	43	0
一般貸倒引当金繰入額(△)	-	-
業務純益	19	0
コア業務純益	19	0
臨時損益	1	△0
うち不良債権処理額(△)	0	0
うち株式等関係損益	0	0
うち貸倒引当金戻入益	0	△1
経常利益	20	△0
特別損益	0	1
税引前当期純利益	20	1
当期純利益	11	△0
与信関係費用(△)	△0	1

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

コア業務純益 19億円(前年同期比 +0億円)

※コア業務純益：一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益控除後の業務純益



有価証券関係損益 0億円(前年同期比 +0億円)

(億円)	26/3期	前年同期比
国債等債券損益	△0	0
売却損益	△0	0
償還損益	-	-
株式等損益	0	0
売却損益	0	0
償却額(減損処理)(△)	0	0

与信関係費用 △0億円(前年同期比 +1億円)

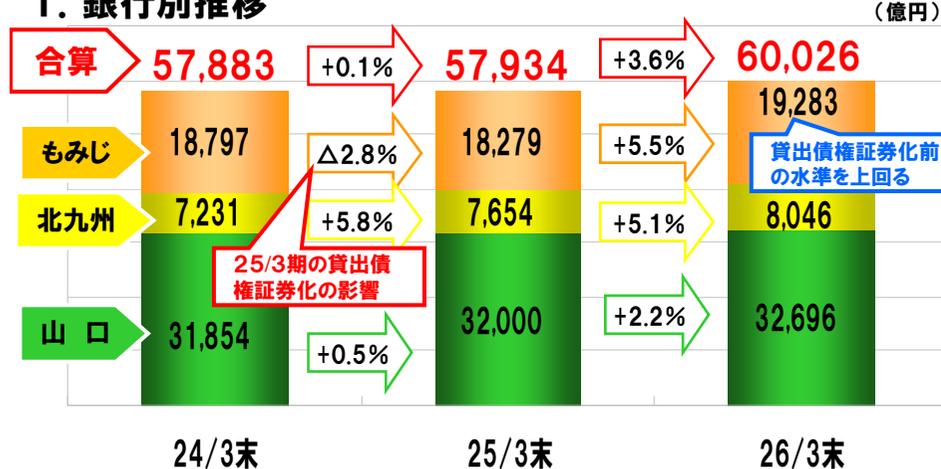
(億円)	26/3期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	△4	13
個別貸倒引当金繰入額	3	△12

預貸金の状況

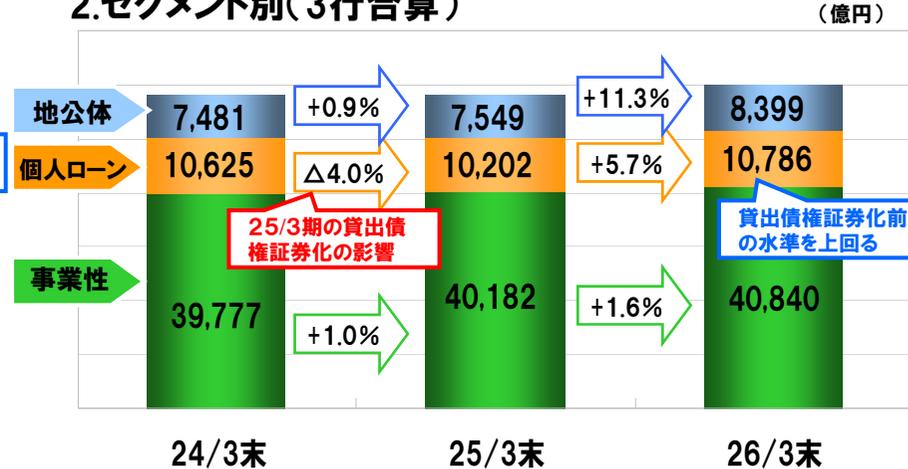
◆貸出金：個人ローンなどの良質な貸出資産を積上げた結果、**前年同期比2,092億円増加**し、総貸出金残高**6兆円台**へ。
 ◆預金：オーバーローンを解消した北九州銀行をはじめとして、総預金残高は**前年同期比3,440億円増加**。

貸出金

1. 銀行別推移

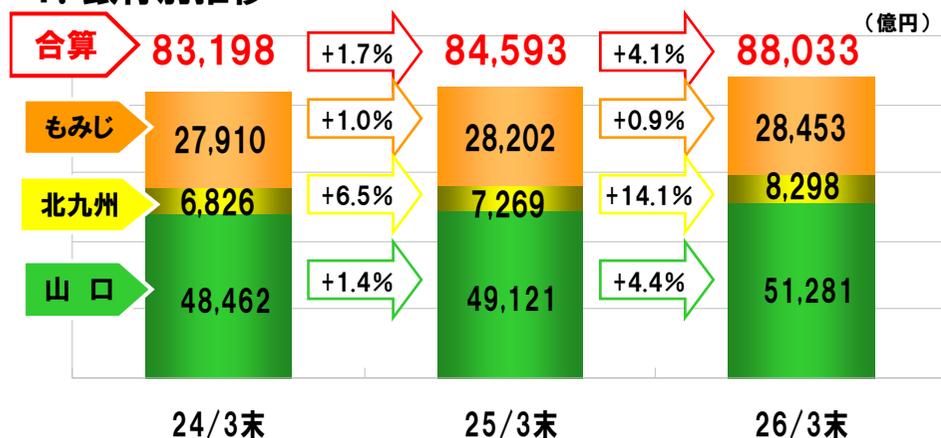


2. セグメント別(3行合算)

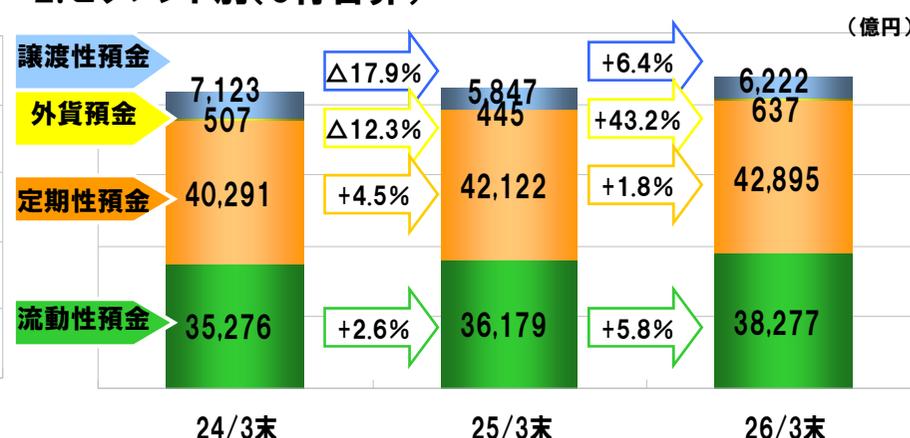


預金

1. 銀行別推移



2. セグメント別(3行合算)

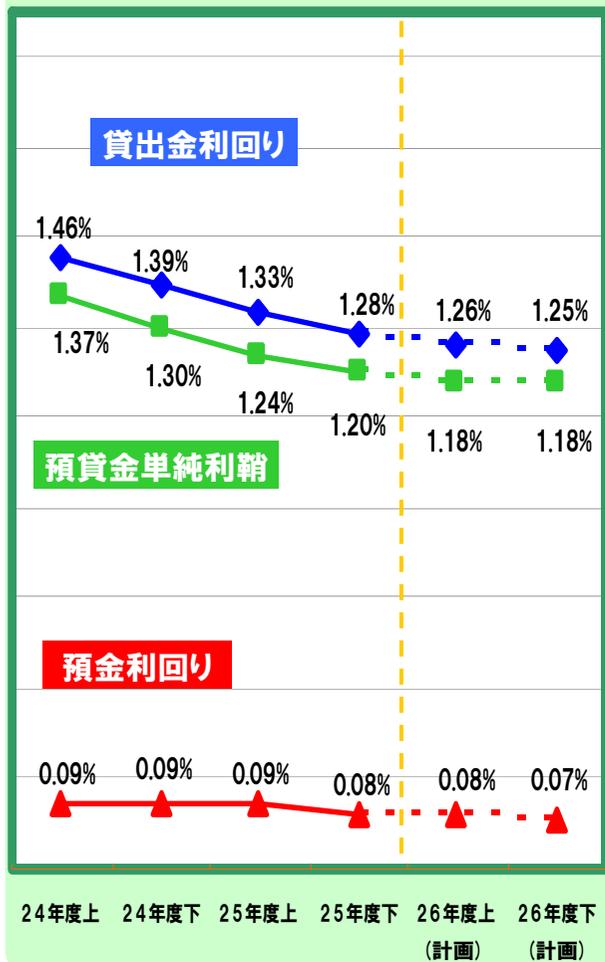


※記載計数は国内店勘定です。

期中平均利回りの推移

- ◆市場金利の低下が継続しており、依然として貸出金利回りは下方推移。
- ◆設備資金取込等貸出金利回り維持向上を図るとともに、高利回り定期預金の満期到来による預金利回り低下を見込む。

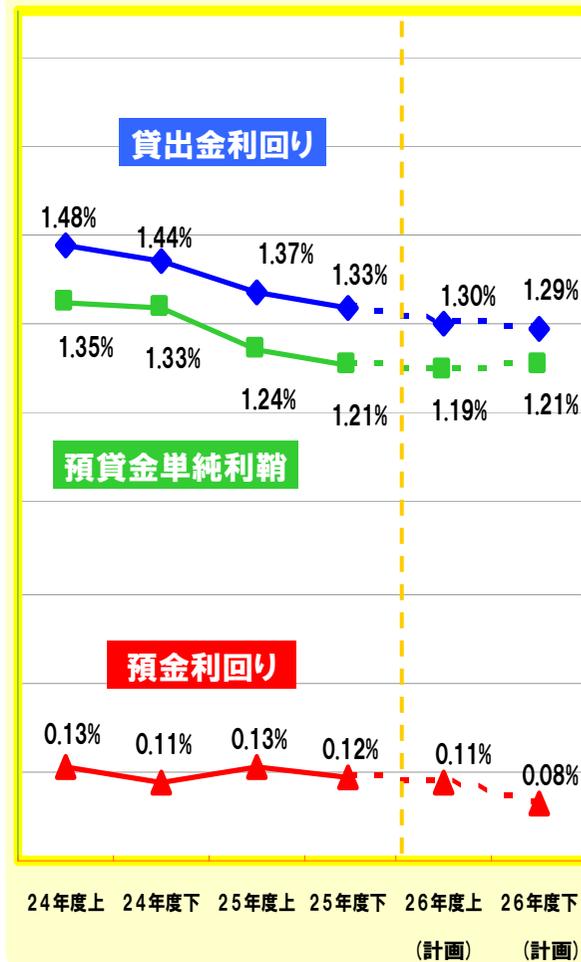
山口銀行



もみじ銀行



北九州銀行

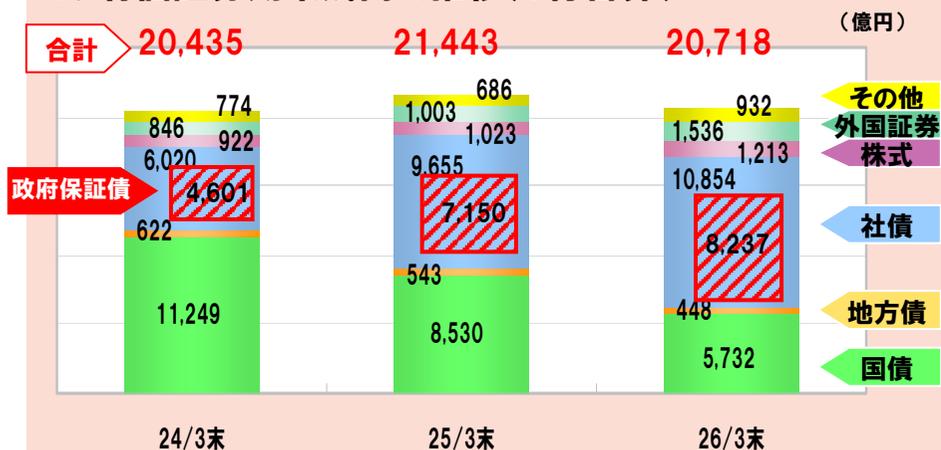


※利回り・利鞘は国内業務部門分(預金についてはNCDを含む)、半期毎の利回りを記載、単位未満を切捨表示。

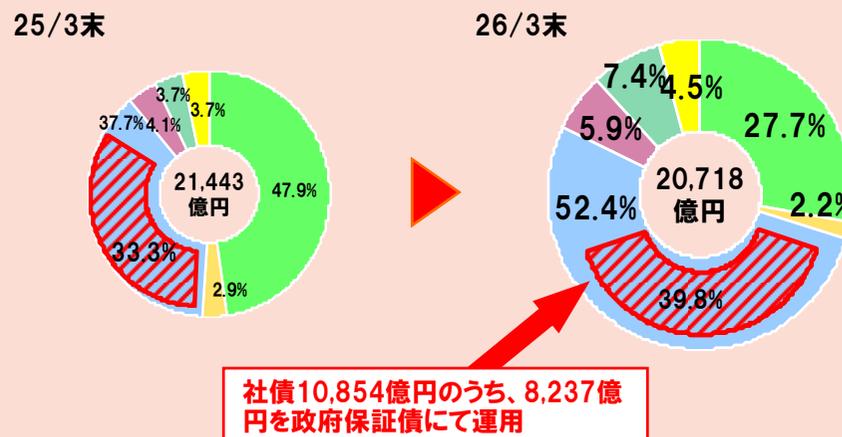
有価証券残高・評価損益の状況

- ◆今後の金利上昇に備えて**デュレーションを短期化**しつつ、政府保証債を中心に運用。
- ◆株式評価額が増加し、有価証券評価益は**551億円(前期比55億円増加)**の水準。

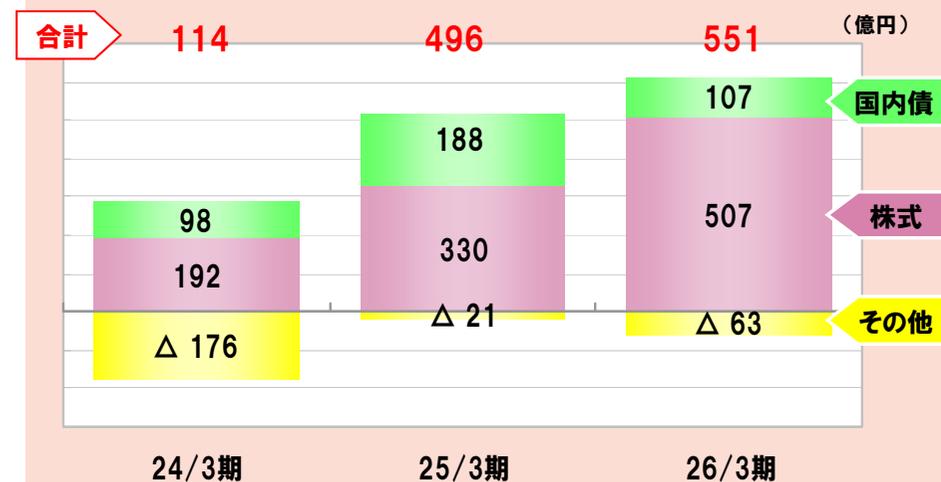
1. 有価証券期末残高の推移(3行合算)



2. 有価証券構成比(3行合算)



3. 有価証券評価損益の推移(3行合算)



4. 保有債券のデュレーション

(年)

山口銀行	25/3期	26/3期	前年同期比
国内債	4.57	4.30	△0.27
外国債券	4.03	3.75	△0.28

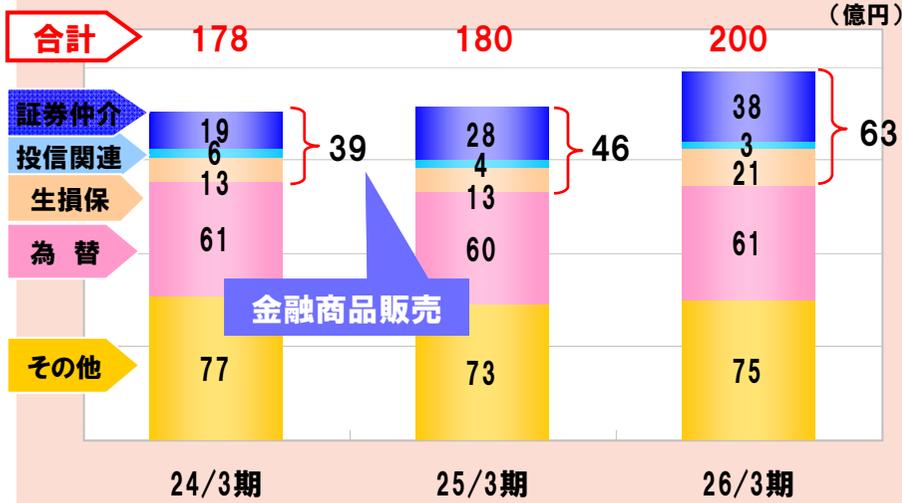
もみじ銀行	25/3期	26/3期	前年同期比
国内債	5.06	4.44	△0.62
外国債券	3.92	3.35	△0.57

北九州銀行	25/3期	26/3期	前年同期比
国内債	4.83	6.60	+1.77
外国債券	-	-	-

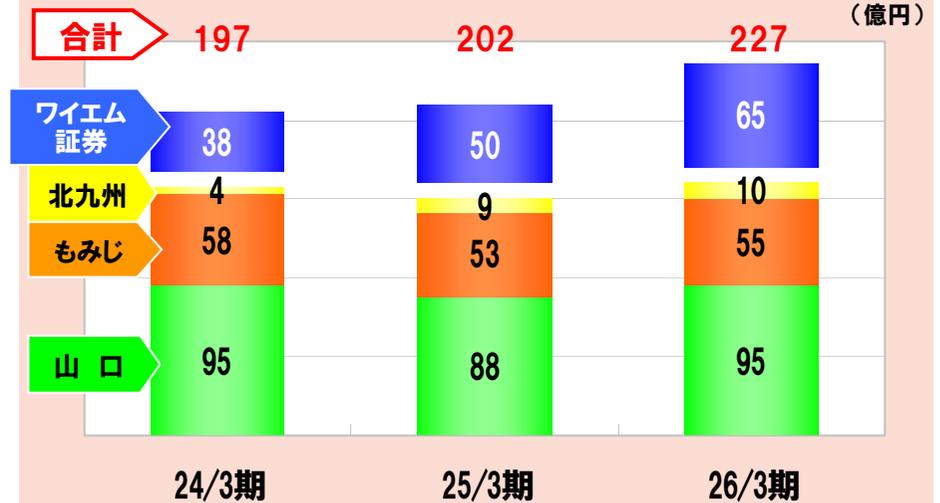
役務収益の推移

- ◆グループ会社であるワイエム証券向けの仲介手数料を中心に、金融商品販売関連の収益が増加。
- ◆銀証連携強化によりワイエム証券の役務収益が伸長し、グループ合算の役務収益は**前期比25億円増加**。

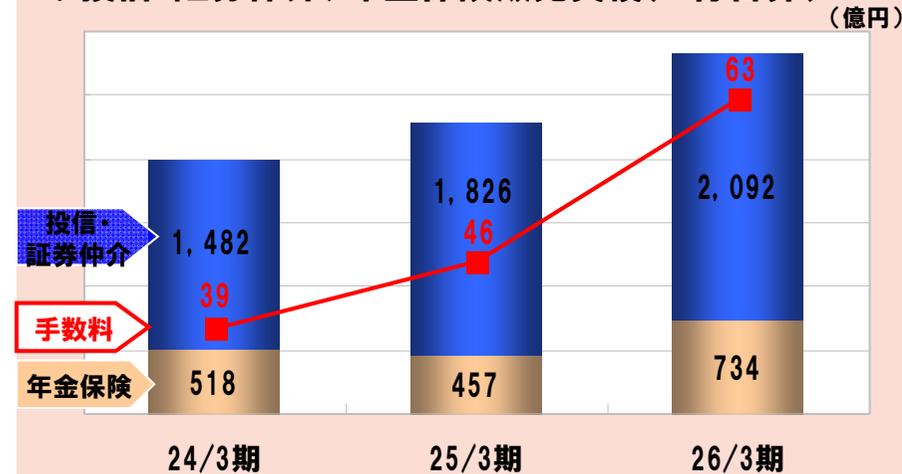
1. 商品・サービス別役務収益(3行合算)



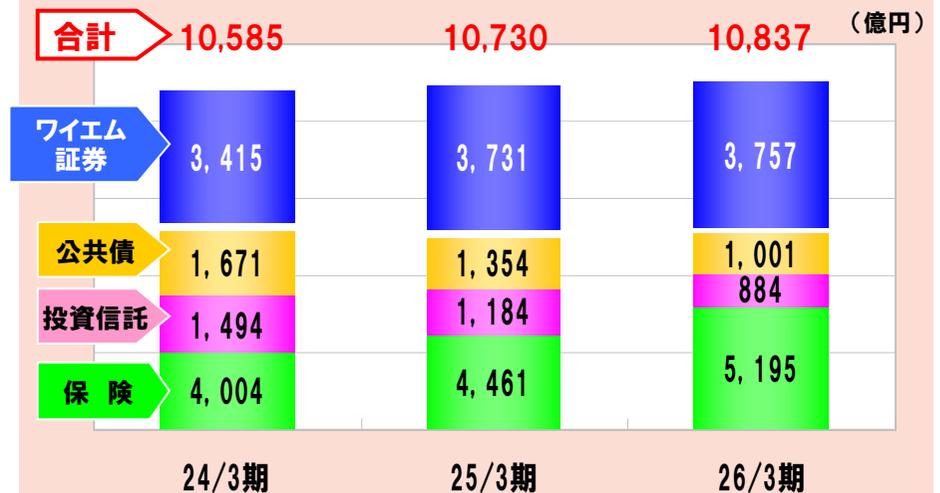
3. グループ企業別役務収益(ワイエム証券を含む)



2. 投信・証券仲介、年金保険販売実績(3行合算)



4. グループ個人預り資産推移(ワイエム証券を含む)



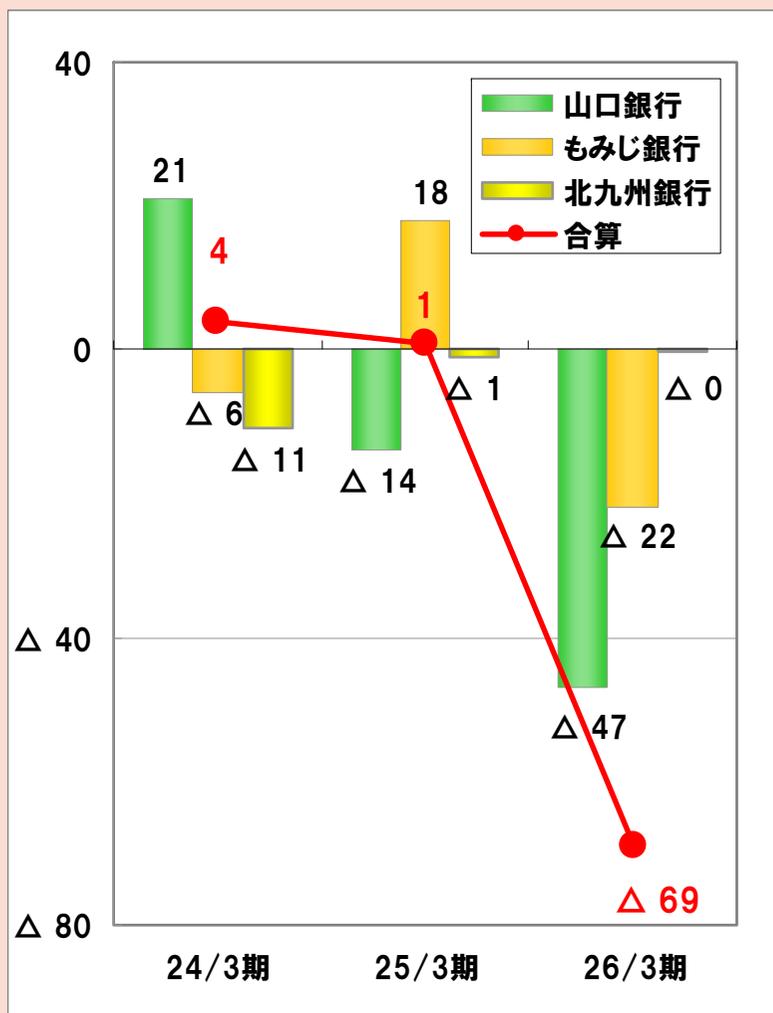
※単位未満切捨て。グループ企業別の数値については、グループ間の相殺処理実施後の数値。

信用コストと不良債権の状況

- ◆与信費用は、3行合算で前年同期比71億円減少して△69億円(利益計上)。
- ◆不良債権残高は、前年同期比165億円減少。不良債権比率も前年同期比△0.37%と大幅に改善。

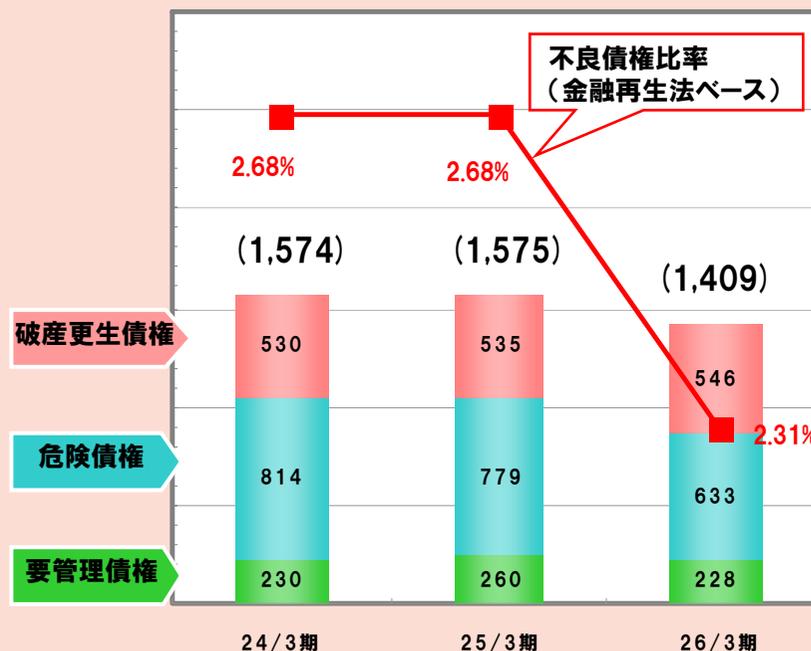
1. 与信費用(3行合算)

(億円)



2. 不良債権残高と不良債権比率(3行合算)

(億円)



[業種別開示債権](3行合算)

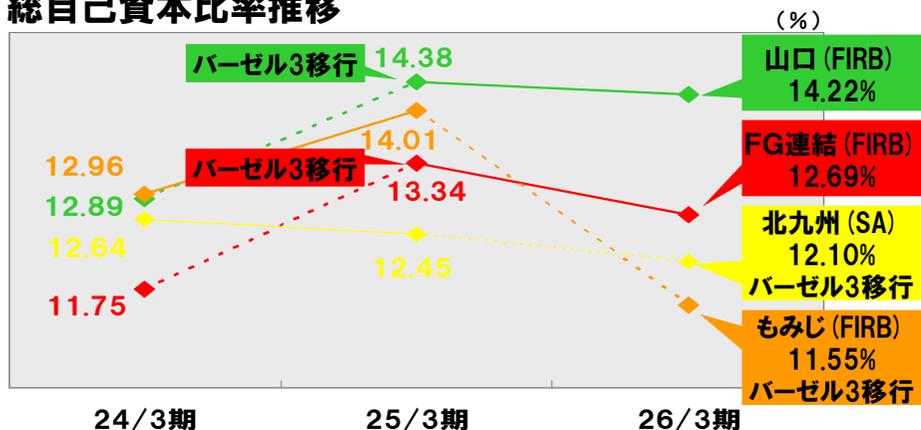
(億円)

	25/3期	26/3期	増減
開示債権合計	1,575	1,409	△ 165
製造業	249	224	△ 24
建設業	208	191	△ 17
卸売・小売業	275	234	△ 40
不動産業・物品賃貸業	188	147	△ 40
各種サービス業	318	308	△ 9
その他	335	301	△ 33

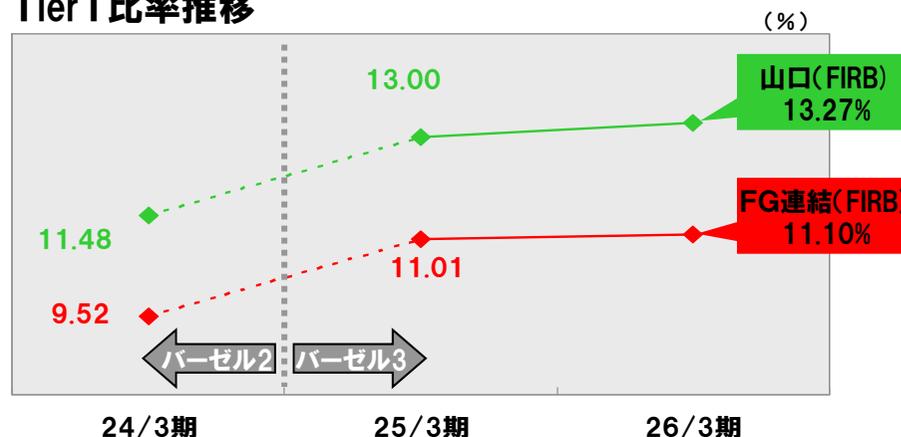
自己資本比率の状況と資本政策

- ◆山口FGの自己資本比率は、グループ各行バーゼル3移行後も**12%台後半を維持**。
- ◆平成25年12月に、外貨建貸出金需要の高まりに対応するため**300百万米ドルのユーロ米ドル建てCBを発行**。

総自己資本比率推移



Tier1 比率推移



※山口フィナンシャルグループ及び山口銀行は平成25年3月期より国際統一基準(バーゼル3)により算出しております。もみじ銀行及び北九州銀行は平成26年3月期より国内基準(バーゼル3)により算出しております。
 ※山口フィナンシャルグループ、山口銀行及びもみじ銀行は信用リスク・アセットの算出において、基礎的内部格付手法を採用しております。北九州銀行は標準的手法により算出しております。
 ※自己資本の構成に関する開示事項については当社ホームページ上に記載しております。

資本政策(ユーロ米ドル建てCBの発行及び自己株式取得)

ユーロ米ドル建てCBの発行 (平成25年12月)

- ◆発行額 300百万米ドル
- ◆年限 5年
- ◆クーポン 0%(ゼロコスト)
- ◆発行の狙い

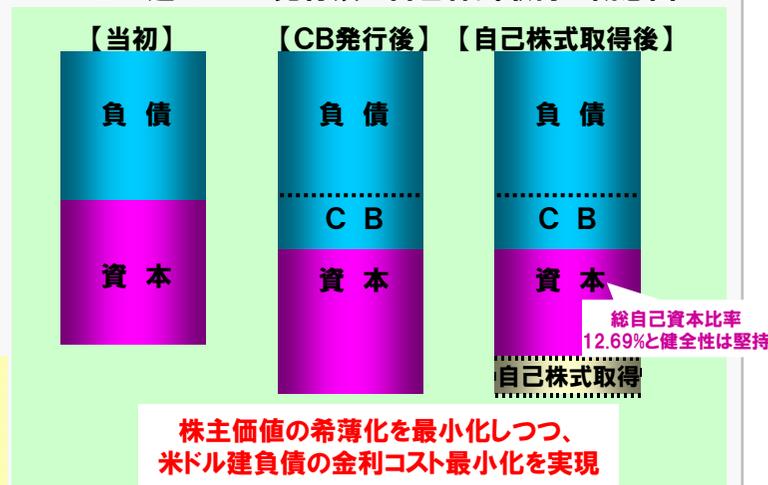
アジアに強みを持つ金融グループとして、法人取引先の海外事業の拡大などを背景とした**外貨建貸出金需要の高まりに対応**するため、転換制限条項及び取得条項(額面現金決済型)の付与により株主価値の希薄化を最小限に抑えた、米ドル建てベースでの**金利コスト最小化**を狙った資金調達

自己株式の取得 (平成25年12月)

- ◆取得株数 9百万株
- ◆取得の狙い

資本効率の向上を通じて**潜在的な希薄化の影響を最小化**

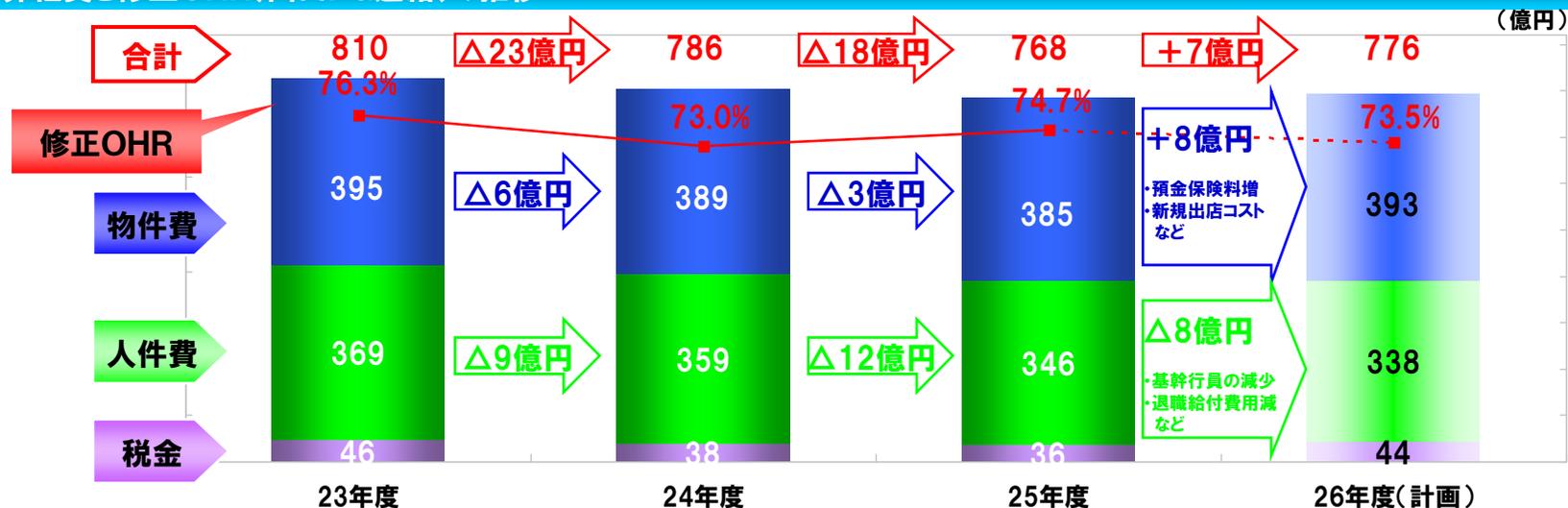
ユーロ米ドル建てCBの発行及び自己株式取得の概念図



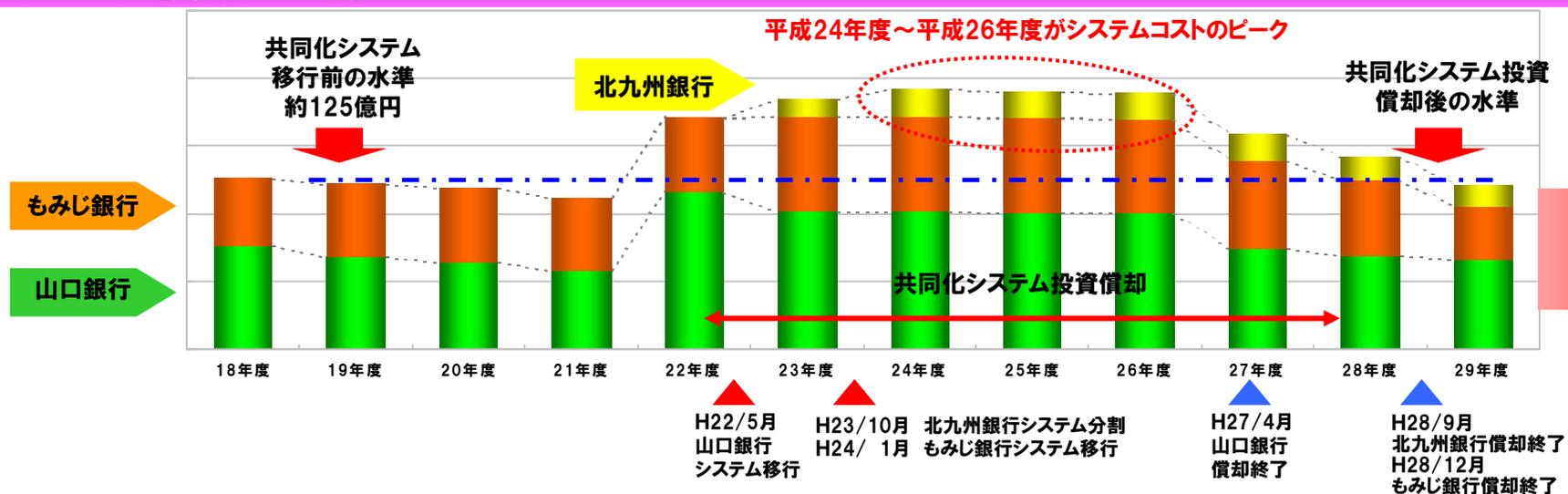
経費の推移と見通し

- ◆平成22年度より増加していたシステム経費のピークは平成26年度が最終年度。
- ◆平成27年度以降は、システム・事務共通化の効果を最大限に活用するステージへ進む。

3行合算経費と修正OHR(山口FG連結)の推移



システムコストの推移(イメージ図)



平成27年3月期の業績予想

- ◆平成27年3月期は、与信関係費用の戻入益(利益計上)や有価証券関係損益が減少し、減収減益を予想。
- ◆引続き、資金収支の改善、役務取引等利益の増加などに努め、コア業務純益は平成26年3月比増加を見込む。

1. 山口FG連結業績予想

(単位:億円)	YMFG連結	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,470	△ 140
コア業務粗利益	1,170	32
コア業務純益	310	23
経常利益	415	△ 83
当期利益	240	△ 72
ROE	4.5%	△ 1.5%
BIS比率	12.5%	△ 0.19%

2.3 行合算業績予想

(単位:億円)	3行合算	
	通期予想	26/3比
経常収益	1,410	△ 116
コア業務粗利益	1,107	33
資金収支	944	△ 4
役務収支	143	19
経費	776	7
人件費	338	△ 8
物件費	393	8
コア業務純益	330	25
経常利益	440	△ 60
当期利益	282	△ 48
与信費用	△ 3	66

3. 各行単体業績予想

(単位:億円)	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行	
	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比	通期予想	26/3比
経常収益	780	△ 57	495	△ 66	135	6
コア業務粗利益	624	46	370	△ 15	112	3
資金収支	521	16	322	△ 24	100	3
役務収支	88	11	46	8	9	0
経費(△)	381	0	301	3	94	4
人件費(△)	158	△ 8	137	△ 1	42	0
物件費(△)	201	4	147	1	45	2
コア業務純益	243	45	69	△ 18	17	△ 1
経常利益	295	△ 11	125	△ 48	20	△ 0
当期利益	190	0	80	△ 49	12	0
与信費用	△ 1	45	△ 5	17	3	3

※記載金額は、単位未満を切捨て表示

配当実績・計画

- ◆平成26年3月期通期では、**3年連続して増配**となる年間13.0円の配当実績。
- ◆平成27年3月期は、**4年連続して増配**となる年間14.0円の配当を予想。

